

野菜の展望

爽やかな空気に入れ替わり、朝晩の冷え込みも強まってきて、秋の訪れを感じられるようになりました。今月の野菜は、産地によっては今年度の天候の影響を大きく受け、かなり不安定な入荷が予想される品目もあり、前年と比べると品目によっては入荷減少の可能性があります。県内に目を向けるといよいよ石川産の秋冬野菜の入荷が始まります。石川産秋冬野菜は順調な入荷が見込まれており、季節訴求・産地訴求に充分対応出来ると思われれます。

葉茎菜類の白菜は長野産主体の入荷ですが、概ね安定した入荷となっています。下旬からは石川・茨城産も加わる予定です。キャベツは群馬・長野産の入荷で、中旬には茨城、下旬より石川産も加わる予定です。葱は石川・北海道産中心で、バラ物については関東・東北産地からの入荷となります。小ねぎについては静岡・愛知・福岡産の入荷です。ほうれん草は飛騨高冷地主体に石川・関東産の入荷です。レタスについては上旬が長野産中心となり、中旬からは茨城産へと移行します。ブロッコリーは石川・北海道・長野産の出回りで、北海道・長野産ともに中旬にて終了となります。石川産については上旬より安定した入荷が見込まれます。

根菜類の大根は石川産中心となります。北海道・青森・岐阜産は平年通り、前半での終了が見込まれます。人参は北海道主力に青森県高冷地からの入荷を見込んでいます。M中心での出荷が続くと思われ、太物は今後の天候にもよりますが、少ない見込みです。蓮根は石川産メインに茨城産で、石川産は中旬より前日掘り作業も始まるため、数量は増加となります。甘藷は石川産主体で、その他茨城からの入荷も予定されています。里芋は宮崎・福井・新潟産の入荷となり、福井産については中旬からの入荷予定です。かぶは青森産主力に新潟産他の入荷となり、中旬頃からは石川産個人物の入荷が見込まれます。

菌茸類の松茸は中国・米国等の輸入物中心に、国内（石川・岐阜・長野）産が加わります。椎茸は石川産菌床物を中心として長野・富山・兵庫・徳島産も出回り、安定した入荷となります。なめこは石川・長野産主体に石川産原木物の入荷となります。えのきは長野産中心に潤沢な入荷が見込まれます。しめじ類は石川・長野産中心で、日々安定した入荷予定です。またこの時期は天然物キノコ類がピークを迎え、芝茸を中心として多品種の入荷となります。

果菜類の胡瓜は石川・群馬・福島産に、中旬からは高知産の入荷も始まります。福島・山形産については上中旬にて概ね終了となります。茄子については、中茄子が石川・高知・山形・群馬、長茄子は熊本・茨城産の入荷です。高知産は順調な入荷が見込まれていますが、熊本産は台風の影響が残り、不安定な入荷となる見込みです。トマトは石川・愛知産を中心に安定した入荷が見込まれます。南瓜は北海道産が中心で食味は良好、順調な入荷となる見込みです。

土物類の馬鈴薯は北海道産が主体で、生育良好から順調な入荷が見られます。ただし全道的な面積の減少もあり、平年よりも少ない見込みです。玉葱については北海道産の入荷で、L大主力で順調な入荷が予想されます。ごぼうは青森産主体に安定した入荷となり、能登産の汐風ごぼうは終了を迎えました。

秋本番を迎え、いよいよ「食欲の秋・味覚の秋」がやってきます。秋冬野菜も本番に入り、煮物・鍋物野菜の需要も上向きになると思われれます。多彩な企画立案による拡販を宜しくお願いいたします。

《野菜第三部部長 杉本智則》

果実の展望

いよいよ秋本番を迎えて、秋冬果実の本格シーズンに入ります。

みかんは福岡・長崎・和歌山産主力に極早生の入荷が始まります。本年産みかんの作柄は裏年で、出荷量は昨年に比べ数量減を見込んでいます。果実肥大は例年並みで、酸切れは良いと思われれます。

柿は和歌山産の刀根、平核無、福岡・愛知・岐阜産の西村、松本、次郎、富有、筆柿の入荷となります。

りんごは中生種で長野産（シナノスイート、秋映）主力に青森産（早生ふじ、ジョナゴールド、王林）が出揃ってきます。

梨は県内産のあきづきは上旬までの入荷予定となり、新高の販売となります。県外産新高梨は上旬からの入荷予定です。

ぶどう類は長野産の巨峰や長野、岡山、山梨産のシャインマスカットを中心とした大粒系の入荷で、数量は前年並みと予想されます。

瓜類については、静岡産メロンは生産者の減少により、前年よりも少ない出荷となります。石川アールスについては、4玉中心で、上旬で終了予定となっています。北海道のらいでん（赤肉）メロンは前年並みの入荷となる見込みです。

いちじくは石川産を主力に愛知産の出回りです。栗は各産地、不作により前進出荷も相重なり、入荷減の見込みです。

輸入果実のバナナはフィリピン産主力に南米産の入荷です。フィリピン産は、徐々に回復傾向になり入荷は安定してきます。価格は高値推移となる見込みです。オレンジはオーストラリア産ネーブル種、下旬以降オーストラリア産バレンシア種が入荷。グレープフルーツは上旬に南アフリカ産ルビー種、及びホワイト種の販売。上旬よりメキシコ産ルビー種、オーストラリア産ルビーホワイトの入荷。レモンはチリ産の入荷。パインアップルは小玉中心で、大玉も増えつつあります。ニュージーランド産のキウイフルーツはグリーンのみとなりますが、安定入荷です。その他、秋商材として乾燥果実の干芋、甘栗の販売が本格化しますし、韓国産のむき栗、カリフォルニア産のザクロ、ハネジューメロン、レッドグローブやシードレスぶどう等も入荷いたします。

以上、今月も一層の拡販をお願いいたします。

《果実部部長 荒木 智》